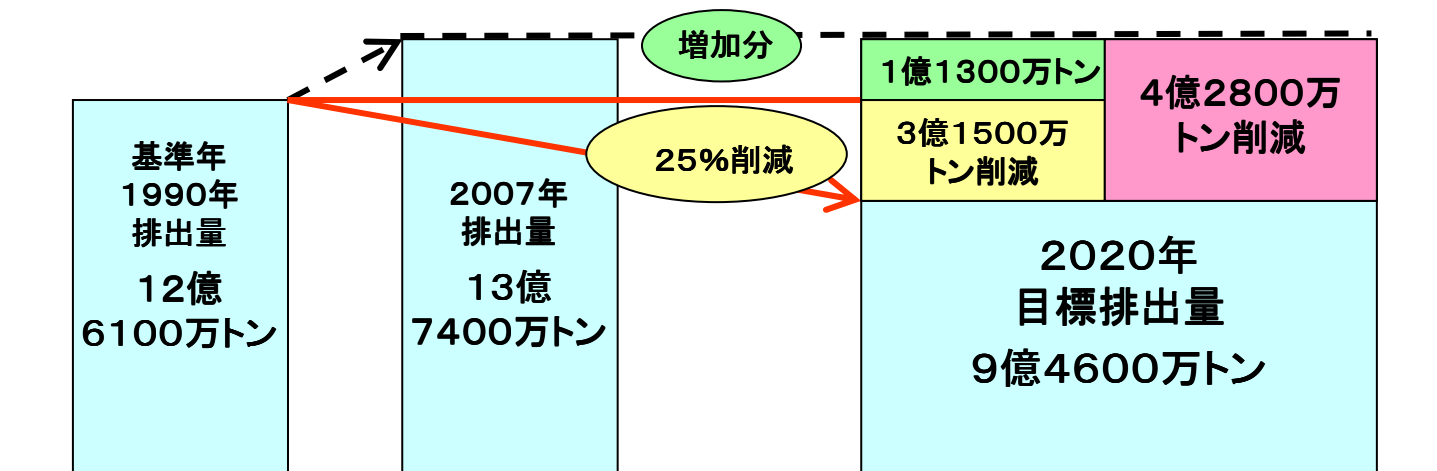


一般廃棄物民間事業化におけるCO₂削減量



一般廃棄物の民間事業化を
全国展開したときの総発電量は
318億kwh/年となる

総発電量
= 発電ゴミ量 × カロリー × 発電効率 ÷ 換算係数
= 318億kwh/年

一般廃棄物処理の民間事業化
を全国展開したときの総発電量
318億kwh/年の
石炭火力の置き換え分に相当
するCO₂の量は3,101万
トン-CO₂/年である

生ゴミを除く総発電ゴミ量2,874万
トン/年、カロリー約3,800Kcal、
発電効率25%、換算係数860
kcal/kwhとする

既存設備のゴミ発電量72億kwh/年を
差し引くと246億kwh/年となる

CO₂の削減量は
2,399万トン-CO₂/年

CO₂排出量
= 総発電量 × 石炭火力の
CO₂原単位(0.975kg-co₂/kwh)
= 3,101万トン-CO₂/年

CO₂排出量
= (総発電量 - 既設発電量)
× 石炭火力のCO₂原単位
= 2,399万トン-CO₂/年

一般廃棄物の広域物流によるCO₂の
増加分3%を差し引くと
2,327万トン-CO₂/年となる

一般廃棄物の民営化により
2,327万トン-CO₂/年
のCO₂削減効果となる

一般廃棄物の民間事業化は
2020年までのCO₂排出
削減目標の
4億2,800万トン/年に対し
5.4%に相当する
(排出量全体の1.7%)